

令和4年度事業報告

【 相談支援事業 】

1 体制

(1) 対象者

障害・病気がある方及びその家族

(2) 開所日及び開所時間

月曜日～土曜日（祝祭日を除く） 9時30分～17時30分

但し、12月29日～1月3日の年末年始は休業

(3) 相談形態

電話、面談、訪問・同行、メール等

2 事業概要

(1) 一般相談支援（秦野市からの委託事業）

ア 福祉サービスの利用援助（情報提供・相談等）に関すること

イ 事業の促進に係る企画、立案に関すること

ウ 社会資源を活用するための支援（各種支援施策に係る助言・指導）に関すること

エ 社会生活力を高めるための支援に関すること

オ 権利擁護のために必要な援助及び成年後見制度の推進に関すること

カ 専門機関の紹介

キ その他必要な支援に関すること

(2) 基幹相談支援センター業務（秦野市からの委託事業）

ア 地域の相談支援事業所で対応することができない個別事例への対応に関すること

イ 相談支援専門員に係る人材育成に関すること

ウ 利用者の支援に係る広域的な調整に関すること

エ 市内相談支援事業者との連絡調整に関すること

オ 児童発達支援センターとの連携に関すること

カ その他の関係機関（民生委員、高齢者、児童、保健・医療、教育、福祉、就労等に関する機関等）との連携に関すること

キ 一般相談（地域移行、地域定着）の促進に関すること

ク 秦野市障害者支援委員会の運営に関すること

ケ 秦野市権利保障実践チームの運営に関すること

(3) 指定特定相談支援、障害児相談支援、一般相談支援（地域移行支援・地域定着支援）

ア サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成、並びに、継続サービス利用支援、継続障害児利用援助に関すること

イ 入院及び施設入所支援利用者に対する地域移行支援及び地域定着支援計画の作成、相談支援に関すること

(4) 障害支援区分認定調査（秦野市からの委託事業）

ア 障害支援区分認定調査に関すること

3 令和4年度総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染予防対策をしながらの事業実施となりました。令和5年3月13日にマスク着用は自己判断となりましたが、引き続き館内でのマスク着用、感染症対策については協力を頂いています。

「ぱれっと・はだの」が開設して5年が過ぎました。相談支援事業所等連絡会、各種関係機関へのカンファレンス等への参加、関係団体との連携等、相談支援を通じて、多くの人と出会う機会がありました。

基幹相談支援センターでは、相談支援事業所等連絡会を通じ、相談支援の質の向上を目指し、事例検討、ミニ勉強会による情報交換等に取り組みました。また、福祉サービス事業所とのより深い連携を図るために、合同開催を2回開催し、事例検討を通じ、サービス等利用計画、個別支援計画との連動、児童期から成人期への移行について検討しました。一昨年度はコロナウィルスの感染拡大により開催できなかった、基幹相談支援センター研修会も開催することが出来ました。個別事例では、行政や病院等からの依頼により、支援が難しい方や手帳を取得していない方、高齢者支援センターとは障害の疑いのある家族、こども家庭支援課・児童相談所とは要保護対策児童やその家族等の支援をしています。

委託相談支援については、昨年度並みの相談実績となりました。障害問わず、福祉サービスの利用に関する相談が多く、グループホームや居宅介護事業所等との調整に勤めました。一方で、ひきこもりや不登校児の相談もあり、本人に会う機会すらなかなか持てず、関係機関からの情報交換を図る等、幅広く対応しています。また、生活する中で生じる精神的不安、家族・人間関係に関する相談は、解消しきれない継続的な相談となり、電話や面接による傾聴や助言等を繰り返しています。不安までは行かない、日常的なつながりを求めてくる電話相談も多くあります。障害手帳を所持していない方、匿名の方への相談についても対応しています。新規の相談は100人を超え、行政、関係機関、知人等からの紹介のほか、インターネットを検索して連絡をしてくる方、他県他市の方からの電話をいただく事もあります。市内では新規の計画相談の受け入れが厳しい状況なので、セルフプランの方のフォローも対応しています。

指定特定相談については、複数の事業所を利用したり、医療機関との繋がりが必要であったり、他市でのサービスを受けている方が主です。計画相談の方の日常的、慢性的な相談、人に繋がりを求める電話等、サービスだけでは解消することのできないニーズにこたえています。モニタリングについては、サービス提供の場で本人の利用状況を確認することを原則とし、市内外の事業所に訪問しています。毎月モニタリングが必要な人については、障害福祉課と相談しながら取り組んでいます。

障害者支援区分認定調査については、新規で障害支援区分が必要となる養護学校高等部の生徒や初めての介護給付を受ける方の調査や更新の方への調査を行っています。

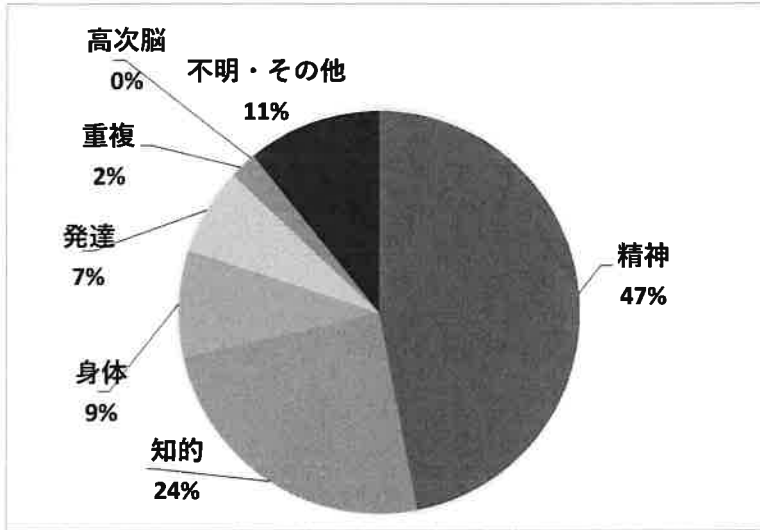
令和4年度については、関係機関との連携の中で、こうした種々の取り組みを継続していく体制が整いつつあると総括するものです。

4 事業内容

(1) 指定委託相談支援事業活動実績

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	精神	知的	身体	発達	重複	高次脳	不明・その他	計
障害者	169	88	31	25	6	2	39	360
匿名	11	5	6				11	33



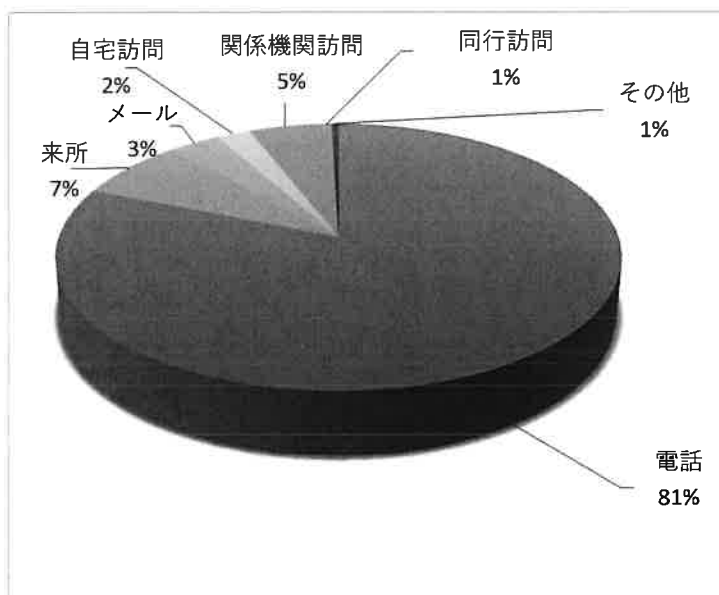
全体の実人員は前年比122.8%。精神障害の割合が多い。知的障害、発達障害の割合が上がってきている。

手帳を所有しない若しくはクローズの方の相談にも対応し、11%をしめている。匿名はデータには反映していません。

【令和3年度実績】 合計 291人
精神障害42%、知的障害26%、身体障害12%、発達障害9%、高次脳機能障害1%、重複障害1%、その他9%

b. 支援方法（延べ件数）

	電話	来所	メール	自宅訪問	関係機関訪問	同行訪問	その他	計
件数	3,411	309	138	95	205	26	20	4,204



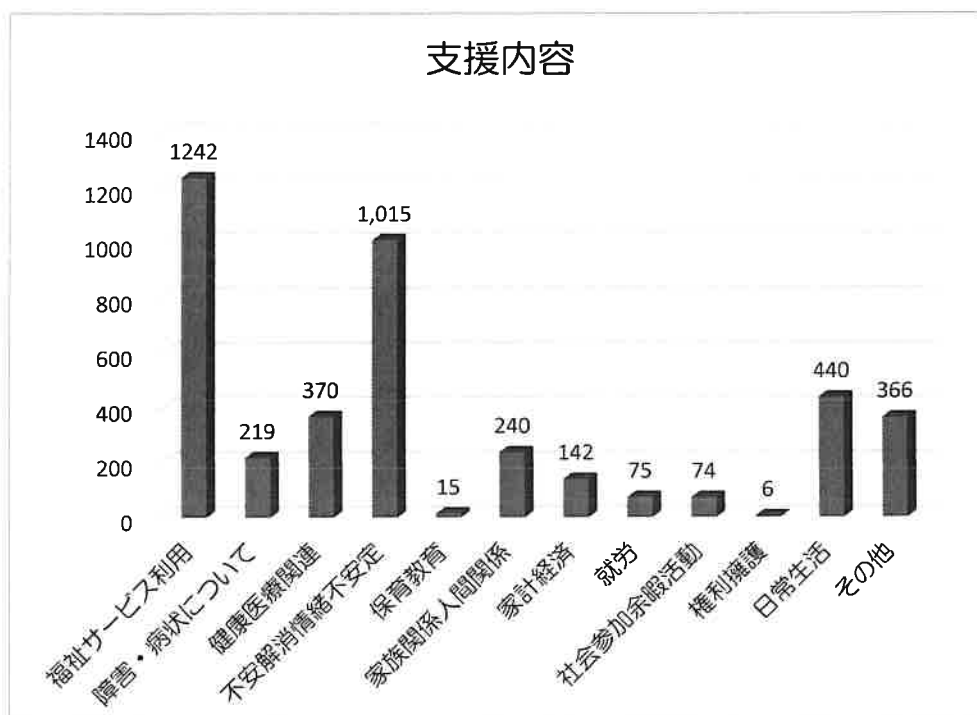
前年同様の件数となっている。来所相談の割合が減り、自宅訪問、関係機関訪問等、アウトリーチによる支援が増え、時間を要している。

【令和3年実績】 合計 4,263件
電話等80%、来所8%、関係機関連携5%、自宅訪問2%、同行1%、メール4%

C. 支援内容

※ 支援内容については主となる支援を1件としている

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育教育	家族関係・人間関係	家計・経済
件数	1,242	219	370	1,015	15	240	142
	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	日常生活	その他		計
件数	75	74	6	440	366		4,202



【令和3年度実績】 合計 4,263件

福祉サービス利用1,507件、障害や病状理解216件、健康・医療315件、不安解消923件、保育・教育3件、家族関係・人間関係172件、家計・経済101件、就労139件、社会参加・余暇活動77件、権利擁護14件、その他262件

件数としては微減であるが、不安解消と家族・人間関係の相談が増えてきている、全体のバランスとしては昨年度並みである。福祉サービスの利用の相談が30%を占めており、サービスにつながった後の支援が指定特定相談の実績に影響することとなる。

< 参考資料 > 委託相談月別実績表

委託相談実績

(単位：名)

	相談件数	実人員	匿名不明	男	女	不明	精神	知的	身体	発達	重複	高次脳	不明	その他	計
4月	428	87	7	54	40	0	45	19	9	9	2	0	5	5	94
5月	332	78	6	50	33	1	40	24	4	9	4	0	3	0	84
6月	367	101	1	53	49	0	52	24	7	9	2	0	4	4	102
7月	383	85	5	45	43	2	41	23	9	8	1	1	1	6	90
8月	446	96	2	47	50	1	51	19	2	10	2	2	5	7	98
9月	332	89	4	47	45	1	45	22	2	6	4	3	5	6	93
10月	287	72	0	32	40	0	37	15	2	9	3	0	6	0	72
11月	303	82	2	39	45	0	43	18	7	11	1	0	4	0	84
12月	322	98	0	45	53	0	54	23	8	6	0	1	0	6	98
1月	337	86	3	40	48	1	48	19	9	6	1	2	2	2	89
2月	327	99	2	53	48	0	54	22	11	6	0	0	7	1	101
3月	340	100	1	52	49	0	54	26	8	6	0	0	5	2	101
計	4204	1073	33	557	543	6	564	254	78	95	20	9	47	39	1106

支援方法

(単位：名)

	電話	来所	メール	自宅訪問	関係機関訪問	同行訪問	その他	計
4月	358	22	17	14	16	1	0	428
5月	269	34	7	4	16	1	1	332
6月	311	26	8	5	15	2	0	367
7月	317	22	14	10	15	1	4	383
8月	374	22	19	5	19	1	6	446
9月	260	26	13	5	24	4	0	332
10月	240	20	4	4	19	0	0	287
11月	232	26	16	7	13	6	3	303
12月	263	26	9	11	11	0	2	322
1月	265	17	13	12	24	4	2	337
2月	254	33	14	10	11	3	2	327
3月	268	35	4	8	22	3	0	340
計	3411	309	138	95	205	26	20	4204

相談内容

(単位：名)

	福祉サービス利用	障害・病状について	健康医療関連	不安解消 情緒不安定	保育 教育	家族関係 人間関係	家計 経済	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	日常生活	その他	計
4月	158	22	21	83	0	28	17	12	3	0	53	31	428
5月	105	14	25	70	1	15	22	7	0	4	36	33	332
6月	84	41	19	119	5	12	2	9	7	1	47	21	367
7月	107	22	31	101	0	26	5	4	21	0	47	19	383
8月	69	19	93	108	2	29	7	6	8	0	46	59	446
9月	83	25	38	84	1	23	4	4	6	0	28	36	332
10月	92	9	32	71	2	15	12	5	1	0	23	25	287
11月	87	11	22	68	1	23	10	4	9	0	36	32	303
12月	102	17	24	64	1	25	26	4	0	0	34	25	322
1月	148	12	26	61	1	10	11	3	6	0	22	37	337
2月	88	10	14	110	1	16	13	5	11	1	35	23	327
3月	119	17	25	76	0	18	13	12	2	0	33	25	340
計	1242	219	370	1015	15	240	142	75	74	6	440	366	4204

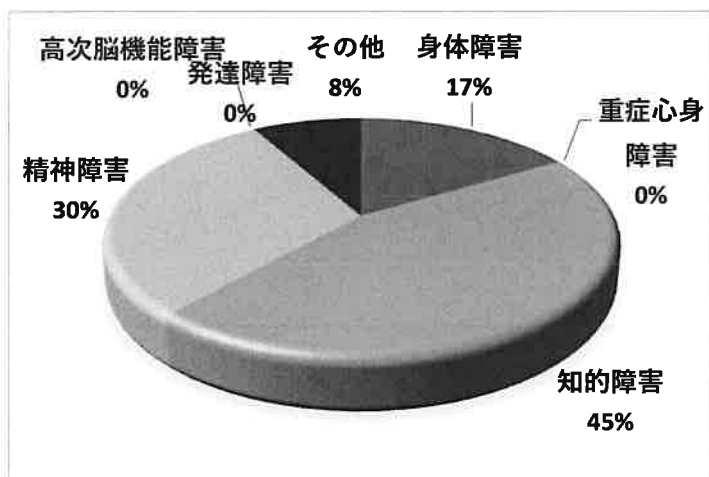
(2) 基幹相談支援センター業務（委託）

個別事例、地域支援件数等

基幹相談支援センターとして、地域の相談支援事業所で対応することのできない個別事例への対応及び、市内相談支援事業所の連絡調整や相談支援専門員の人材育成等を目的に、相談支援事業所等連絡会を開催しました。

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
障害者	12	0	25	22	0	0	6	65
障害児	0	0	8	0	0	0	0	8
計	12	0	33	22	0	0	6	73



計画相談支援事業所の支援困難事例等に対するアドバイザー及び計画相談へのつなぎ役として対応しました。

【令和3年度実績】 合計44人
身体障害18%、知的障害50%、
精神障害21%、発達障害2%

b. 支援方法

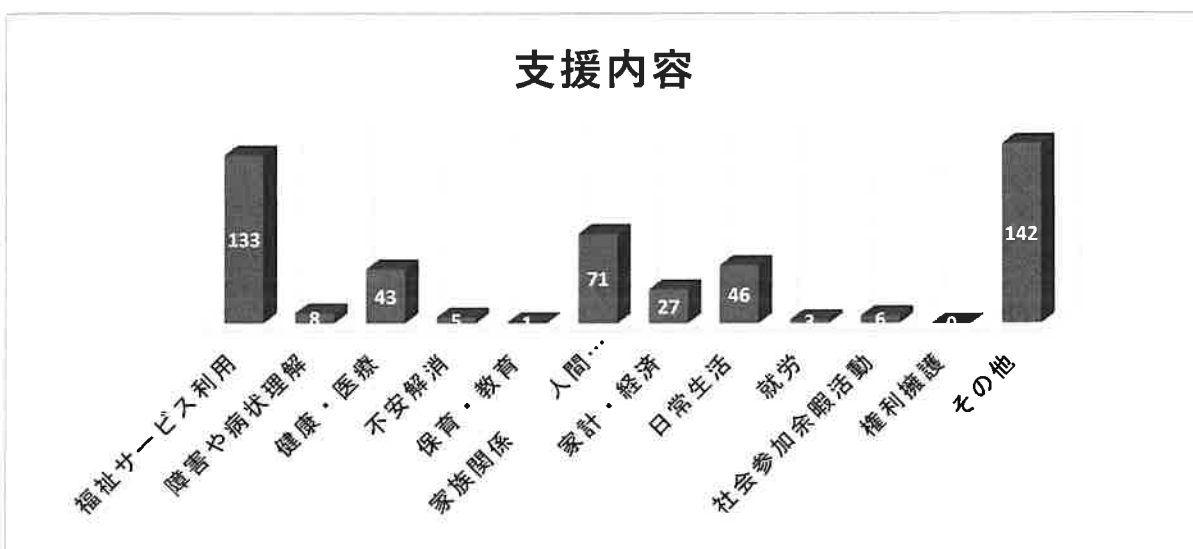
	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	関係機関連携	その他	合計
件数	42	21	16	240	1	41	176	537

アウトリーチによる、家庭や事業者等への訪問による支援に取り組みました。家庭や地域で生じる課題が明確になり、関係機関との連携も活性化しています。その他は、情報交換や連絡調整が含まれています。

【令和3年度実績】 合計 209件
訪問13件、来所7件、同行1件、電話等75件、個別支援会議2件、
関係機関連携7件、その他104件

C. 支援内容

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係 人間関係	家計・経済	日常生活
件数	133	8	43	5	1	71	27	46
	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他				
件数	3	6	0	142				
								合計
								485



【令和3年度実績】 合計 127件
 福祉サービス利用64件、障害や病状5件、健康・医療12件、不安解消3件、補
 保育・教育3件、家族関係・人間関係5件、家計経済3件、日常生活10件、就労
 4件、その他18件

(3) 権利保障実践チーム実績報告

① 件数

相談：1件

研修：1件

② 相談内容

相談1件については、弁護士への相談調整中に依頼元より取り下げの依頼があったことから、支援は行われませんでした。

③ 考察

コロナ禍の影響も受けつつ、事業展開が広がらないことは継続的な課題となっています。相談支援専門員が集う会合等で更なる周知を継続して実施していきます。

実績の取り方については、基幹相談支援センターの「困難事例への助言」と「権利保障実践チームの活動」の棲み分けについて整理を行い、権利保障実践チームとしての活動は、あくまでも司法と福祉の連携に関してのみ、カウントを取ることにしました。

(4) 障害支援区分認定調査

調査員の分担については、秦野市が年度当初に一括して委託している相談支援事業所等へ依頼をしており、調査員の派遣による認定調査を実施しました。

市からの依頼数は105件、うち83件実施しました。内訳は新規42件、更新41件でした。また、キャンセル数は新規18件、更新4件でした。

(5) 地域生活支援拠点整備

地域生活支援拠点としての一機能である「緊急時の受け入れ・対応」に関して当事者団体（委員会・支部会）への周知をすすめ、現在23名登録済みです。また、昨年9月に登録された方に対して、実績として1件事案が発生しました。

（緊急時にグループホームで過ごされ、その後自宅に戻っています）
今年度はチラシを配布するなど、より一層の周知を行っていきます。

会議等

1 湘南西部障害保健福祉圏域相談支援ネットワーク会議

回数	開催日	場所	内容
1	令和4年6月3日	二宮町町民センター	1 湘南西部圏域自立支援協議会の今年度の予定について 2 各市町協議会・部会の状況等について 3 相談支援体制について 4 各機関の課題等への取り組み状況について 5 その他、共有事項、多機関にだすねたい事項
2	令和4年12月16日	平塚市福祉会館	1 各市町の状況等について ・協議会・部会関連 ・各機関の取り組み 2 相談支援従事者初任者研修・現任研修のインターバル実習対応の振り返り 3 意思決定支援への取り組み等について 4 防災（個別避難計画作成等）への取り組み等について

2 まちかど福祉相談室（秦野市社会福祉協議会主催）

開催日	場所	内容
月1回（8月を除く）	おおねふれあい館	社会福祉協議会、大根地域高齢者支援センターと共に、大根地区の方々への相談支援

3 秦野市成年後見ネットワーク連絡会

1	令和4年5月31日	秦野市保健福祉センター	1 令和3年度秦野市成年後見利用支援センター事業報告について 2 中核機関の取り組み及び課題について 3 令和4年度秦野市成年後見利用支援センター事業計画について 4 情報交換 ・成年後見制度に関する困りごと、権利擁護に関する対応に苦慮している事
2	令和5年2月13日	秦野市役所教育長舎	受任団体意見交換会 【協議題】（受任団体、行政機関） 秦野市における報酬女性の取り組みについて 【協議題】（相談機関） 金融機関窓口における権利擁護に関するヒアリング結果報告及び今後の金融機関との連携について

4 養護学校連絡会

1	令和4年11月24日	ぱれっと・はだの	1 秦野市在住の高等部3年生の進路に関する情報交換 2 サポート校、インクルーシブ校との情報交換
2	令和5年2月21日	ぱれっと・はだの	1 養護学校高等部3年生の動向 2 福祉サービス利用者について 3 就労希望者について

5 平塚養護学校との連携

1	令和4年7月26日	平塚養護学校	職員研修会
2	令和4年12月8日	平塚養護学校	肢体不自由教育部門生徒の進路に関わる連絡会

6 平塚児童相談所

1	令和4年10月26日	Web(zoomミーティング)	施設入所中児童の地域移行にかかる連絡会議
---	------------	-----------------	----------------------

7 秦野市要保護児童対策協議会

1	令和4年4月23日	秦野養護学校	個別ケース検討会
2	令和4年7月21日	秦野養護学校	個別ケース検討会
3	令和4年11月1日	秦野養護学校	個別ケース検討会
4	令和4年11月8日	広畑小学校	個別ケース検討会
5	令和4年11月28日	南小学校	個別ケース検討会
6	令和5年1月24日	広畑小学校	個別ケース検討会
7	令和5年3月17日	秦野養護学校	個別ケース検討会

8 高齢者支援センター

1	令和4年6月22日	大根公民館	大根・鶴巻ケア会議
2	令和4年8月17日	鶴巻地域高齢者支援センター	ケア会議

9 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に係る協議の場

1	令和5年3月24日	はだのこども館	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて 活動報告 これからの本市における「にも包括」について
---	-----------	---------	---

10 弘済学園地域移行支援カンファレンス

1	令和4年6月10日	弘済学園	ケース会議
---	-----------	------	-------

11 民生児童委員

1	令和5年1月23日	西公民館	西民児協学習会講師
2	令和5年3月1日	本町公民館	未広民児協勉強会講師

12 地域リハビリテーション連携構築事業研修会

1	令和5年1月23日	本町公民館	障害福祉グループホームにおけるリハビリテーションの可能性について
2	令和5年2月10日	本町公民館	障害福祉グループホームにおけるリハビリテーションの可能性について

13 その他

- ・秦野市支援教育における専門相談にかかる特別支援学級訪問
- ・インクルーシブ教育研修会
- ・利用者の性に関する支援に関する情報交換会
- ・相談支援従事者初任者研修フォローアップ研修

相談支援事業所等連絡会（対象：相談支援専門員等）

回数	実施日	内容
1	令和4年4月14日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	・秦野市障害者支援委員会 ・今年度の連絡会の取り組みについて ・情報交換
2	令和4年5月19日 10:00~12:00 秦野市教育庁舎第3会議室	【事例検討】 ・姉との生活に無理が出た時の対応の準備をしたほうがいいと思っているが、姉の気持ちに踏み込めない
3	令和4年6月23日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【ミニ勉強会】 ・相談支援について 秦野市地域共生支援センター ・インフォーマルサービスの活用
4	令和4年8月12日 アンケート調査	【相談支援体制】 ・サービス等利用計画・障害児支援利用計画、モニタリング等に関するアンケート調査
5	令和4年9月15日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【事業所合同事例検討会】 ・相談支援専門員と、サービス管理責任者がどう連携をとっていけばいいのか
6	令和4年10月13日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【ミニ勉強会】 ・アセスメントについて
7	令和4年11月18日 14:00~16:00 Web開催	【精神科医療機関等連絡会議】 ・どんな支援をしているの？お互いの役割を確認しよう
8	令和4年12月13日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター多目的ホール	【事例検討】 ・不登校の児童
9	令和5年2月24日 14:00~16:00 本町公民館多目的ホール	【事業所合同事例検討会】 ・児童から成人への移行への支援体制について
10	令和5年3月16日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【グループワーク】 ・今年度の連絡会の振り返り ・来年度の連絡会の取り組みについて

基幹研修会（対象：相談支援専門員、サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者等）

回数	開催日	内容
1	令和4年7月29日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター第4会議室	【テーマ】精神疾患の理解と支援 【講師】神奈川県精神保健福祉センター 河本絵理 ばれっと・はだのピア活動当事者
2	令和5年1月30日 14:00~16:00 秦野市保健福祉センター多目的ホール	【テーマ】「相談支援体制について」～他市の状況から学ぶこと～ 【シンポジスト】 厚木市障がい者基幹相談支援センター 栗原 大 鎌倉市基幹相談支援センター 栗田京子 小田原市基幹相談支援センター 大友崇弘

相談支援事業所訪問

5事業所 5名の相談員と面談

相談支援従事者初任者研修インターバル研修
相談支援従事者現任研修インターバル研修

6事業所 18名（15名来所 3名メール）
5事業所 7名来所

基幹相談支援センター連絡会

1	令和4年9月5日 14:00~16:30 県職キャリア開発支援センター	【基調講演】地域における基幹相談支援センターの役割について 日本相談支援専門員協会 菊本圭一 【グループワーク】 地域における人材育成と基幹相談支援センターの役割について
2	令和5年1月20日 13:15~16:30 県職キャリア開発支援センター	【シンポジウム】相談支援体制のこれからを考える 日本相談支援専門員協会 代表理事 菊本 圭一 ・横浜、逗子、伊勢原市より「地域づくり」について実践報告 【グループワーク】 ・市町村の支援体制・地域課題について

秦野市障害者支援委員会

回数	実施日	内容
1	令和4年5月24日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援委員会懇話会部門報告について ・令和3年度主要な補助事業の実施状況について ・相談支援事業の報告について ・就労支援事業の報告について ・障害者虐待防止の報告について ・令和4年度障害福祉課の重点課題について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・日中サービス支援型共同生活援助に係る実施状況の報告について
2	令和4年10月25日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・日中サービス支援型グループホームに係るイセン委員会からの意見等への対応について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・インクルーシブ公園などに代表される合理的配慮について
3	令和5年2月14日 秦野市役所教育庁舎3階大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・秦野市障害者支援懇話会部門報告について ・湘南西部障害者保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター活動報告について ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの取り組みについて ・令和5年度に向けて

秦野市障害者支援懇話会

1 総合部門

回数	実施日	内容
1	令和4年5月13日 希望の丘はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について
2	令和4年10月11日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について
3	令和5年1月31日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門の活動の進捗状況、検討事項について ・秦野市障害者支援委員会への報告事項、検討事項について

2 相談部門

回数	実施日	内容
1	令和4年4月12日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度委託相談の実績について ・令和4年度の取り組みについて ・令和4年度相談支援事業所等連絡会について
2	令和4年6月10日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 ・連絡会のサービス提供事業所合同開催に向けて ・インフォーマルサービスについて
3	令和4年8月22日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 ・サービス等利用計画・モニタリング報告書に関する情報共有 ・相談支援事業所等連絡会（合同開催）の事例の選定
4	令和4年9月6日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 ・相談支援事業所等連絡会（合同開催）の確認 ・他市援護ケースの計画相談の依頼に関して
5	令和4年12月7日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 ・精神医療連絡会に向けて ・相談支援事業所等連絡会について ・主任相談支援専門員研修修了者の位置づけについて
6	令和5年2月8日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 ・相談支援事業所等連絡会（12月）の振り返り ・サービス等理字洋計画と支給量について ・地域生活拠点について
7	令和5年3月8日 ばれっと・はだの	<ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 ・秦野市障害者支援委員会・懇話会組織の周知に関して ・訪問入浴サービスについて ・新規開設事業所のフォローアップについて ・基幹相談支援センターの役割、認識の統一について ・今年度の振り返り

3 就労部門

回数	実施日	内容
1	令和4年5月25日 オンライン	・研修会「就労定着支援サービスを学び、実践に活かす」
2	令和4年6月22日 希望の丘はだの交流ホール	・研修・セミナーの開催について（振り返り） ・今年度の活動方針・活動目標
3	令和4年9月28日 希望の丘はだの交流ホール	・障がい就労支援に関するアンケートについて ・今年度の活動方針・活動目標
4	令和4年11月29日 希望の丘はだの交流ホール	・就労継続支援B型、施設外就労先の見学会について ・工賃向上についての取り組みについて ・精神障がい者、精神的に弱い利用者への支援対応方法について
5	令和5年2月6日 希望の丘はだの交流ホール	・就労継続支援B型、施設外就労先の見学会について ・工賃向上についての取り組みについて ・精神障がい者、精神的に弱い利用者への支援対応方法について ・次年度の部門会体制について

4 地域共生部門

回数	実施日	内容
1	令和4年4月26日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・イオンパネル展示について ・広報はだの特集ページについて ・防災課との連携について ・当事者連絡会より
2	令和4年8月23日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・秦野市障害者支援委員会報告・防災課との連携について ・当事者連絡会より・広報はだの特集ページについて・警察との連携
3	令和4年12月27日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・秦野市障害者支援委員会報告・当事者連絡会より ・よかたこと調査について・今後の地域共生部門について ・当事者連絡会について
4	令和5年3月14日 秦野伊勢原医師会1階研修室	・秦野市障害者支援委員会報告・当事者連絡会について ・当事者連絡会より・令和5年度活動方針・重点事項について ・令和4年度のまとめ

4-2 当事者団体懇談会

回数	実施日	内容
1	令和4年6月8日 ぱれっと・はだの	・「防災について」勉強会をふまえての意見 ・各団体からよせられた「合理的配慮」について ・各種団体の課題（会員の高齢化・減少等） ・今後の当事者連絡会の方向性
2	令和4年10月5日 ぱれっと・はだの	・広報はだのの記事・防災について・秦野警察との繋がり ・各種団体の合理的配慮から
3	令和5年1月18日 ぱれっと・はだの	・支援委員会、地域共生部から報告・秦野警察署との交流会報告 ・広報はだの12月1日号 共生社会特集'・よかったこと調査

5 福祉サービス部門

5-1 短期入所（緊急時対応）に関するNW構築に向けた会議

回数	実施日	内容
1	令和4年6月15日 オンライン開催	・地域生活拠点の機能について ・日中一時支援事業
2	令和4年10月11日 丹沢自律生活センター会議室	・地域生活拠点の機能について ・日中一時支援事業

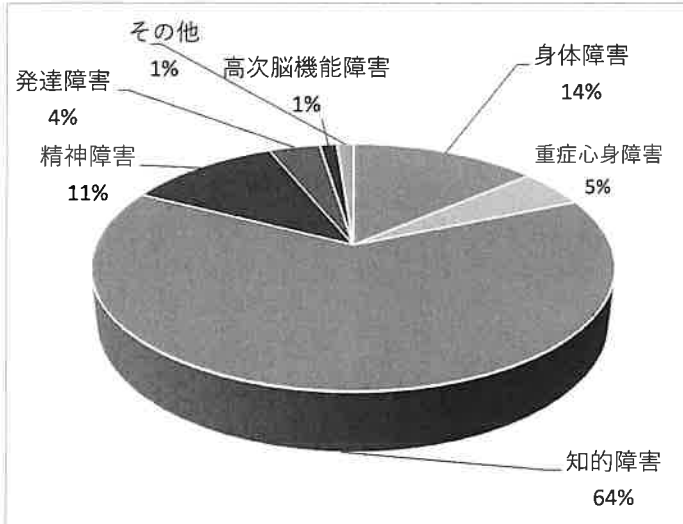
6 こども部門医療的ケア児支援者情報連絡会

回数	実施日	内容
1	令和4年8月1日 オンライン開催	・秦野市こども部門医療的ケア児支援者連絡会及び秦野市の医療的ケア児等コーディネーター配置運用について ・かながわ医療的ケア児支援・情報センターについて ・県立特別支援学校における医療的ケア児通学支援事業について ・小児慢性特定疾病更新時アンケートについて
2	令和4年12月14日 弘済学園	・秦野市の医療的ケア児コーディネーター配置運用・支給決定量 ・医療的ケア児を支援する市内の事業所の動向・他市町の状況 ・ニーズと事業所のマッチング ・秦野市の医療的ケア児の実態とその把握

(6) 指定特定相談支援事業

a. 相談支援を利用した障害者等の実人数

	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他	計
障害者	11	3	49	9	3	1	0	76
障害児	0	1	2	0	0	0	1	4
合計	11	4	51	9	3	1	1	80



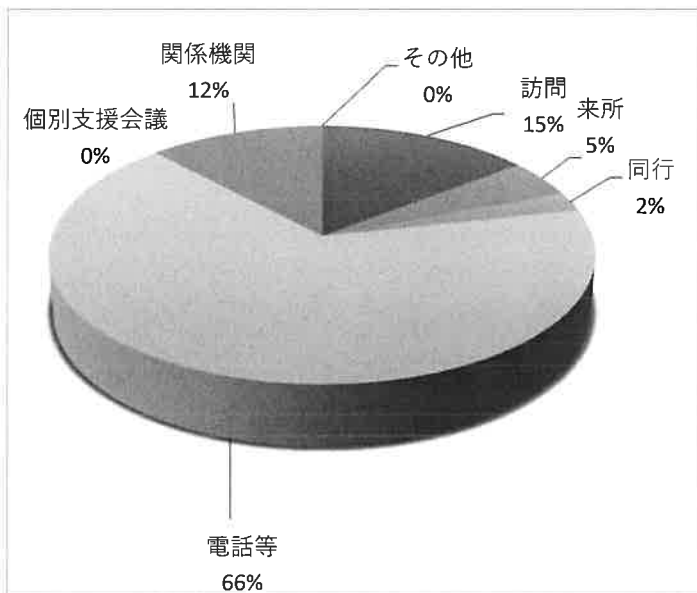
新規利用者は1名。転居、死亡により2名が終結。
知的障害の割合が64%を占めています。

【令和3年度年度実績】

合計 80人
精神障害13%、知的障害67%、
身体障害14%、発達障害1%、重症心身障害4%、高次脳機能障害1%

b. 支援方法（延べ件数）

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	関係機関	その他	計
件数	571	185	95	2,614	2	470	0	3,937



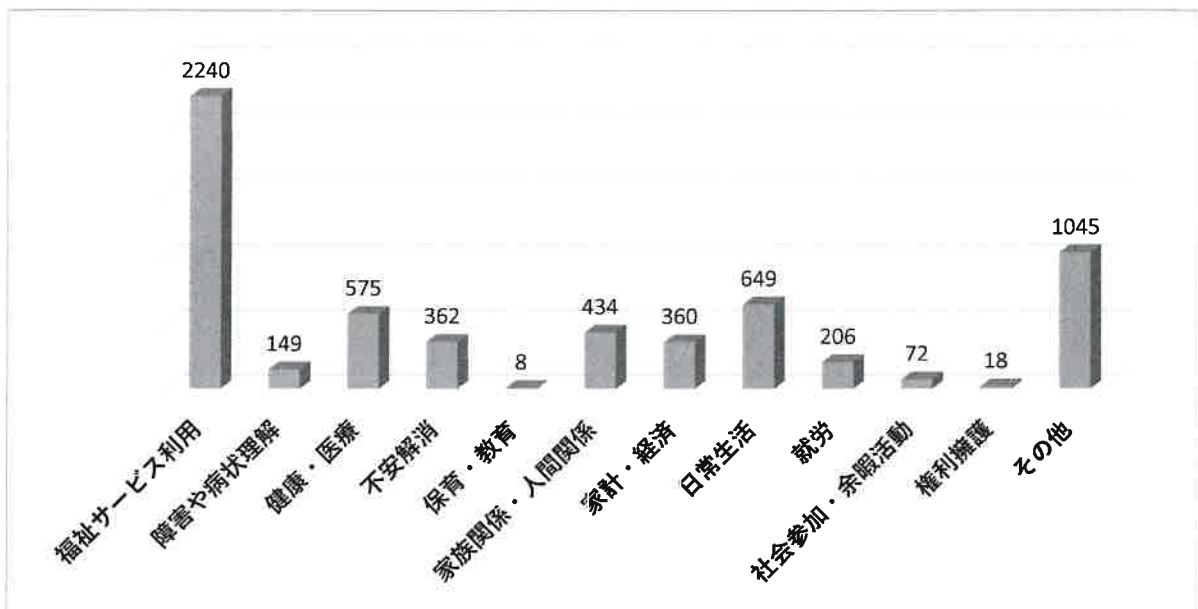
件数は前年度比108.5%。複数のサービスを利用しており調整等の電話対応が多くなりました。
モニタリングについては訪問することを原則としていますが、表には反映されていない市外サービス利用者が17名います。

【令和3年度実績】

合計3,630件
訪問13%、来所5%、電話等67%、関係機関連携12%、同行3%

C. 支援内容

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安解消	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	日常生活
件数	2240	149	575	362	8	434	360	649
	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	計			
件数	206	72	18	1045	6,118			



【令和3年度実績】 合計 5,776件

福祉サービス利用2,112件、障害や病状理解194件、健康・医療550件、不安解消407件、保育・教育7件、家族関係・人間関係280件、家計・経済250件、日常生活770件、就労323件、社会参加・余暇活動88件、権利擁護17件、その他778件

計画相談で毎月モニタリングの方は4名。
 複数のサービスを利用するために、モニタリングの調整に時間を取られたり、市外のサービスを利用するために、訪問に時間を要しています。
 サービス利用に限らず日常的な相談や不安解消への相談も増加しています。

【 地域活動支援センター事業 】

《事業概要》

地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるように創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な相談支援を適切かつ効果的に行うよう努めました。

さらに保健・医療・福祉の連携や同じ悩みや症状などを抱えている当事者同士であるピアサポーターの育成及び障害に対する理解を促す普及啓発等に取り組みました。

1 フリースペース運営

秦野市在住の精神障害の方（重複障害の方を含む）を対象として豊かな地域生活を支える一助となるよう「居場所の提供」を行いました。

新型コロナウイルス感染症のリスクを避けるため、可能な限りの対策を行い皆様に安心安全にご利用いただけるよう意識して取り組みました。

《運営体制》

(1) 利用対象

秦野市に住民票のある精神障害（重複障害の方を含む）の方、センターの利用が適当であると市が認めた方

(2) 実施日時

月曜日～土曜日（祝祭日、年末年始を除く） 13時～17時30分

※月曜日はオープンスクエアという利用者主体の運営

《事業実績》

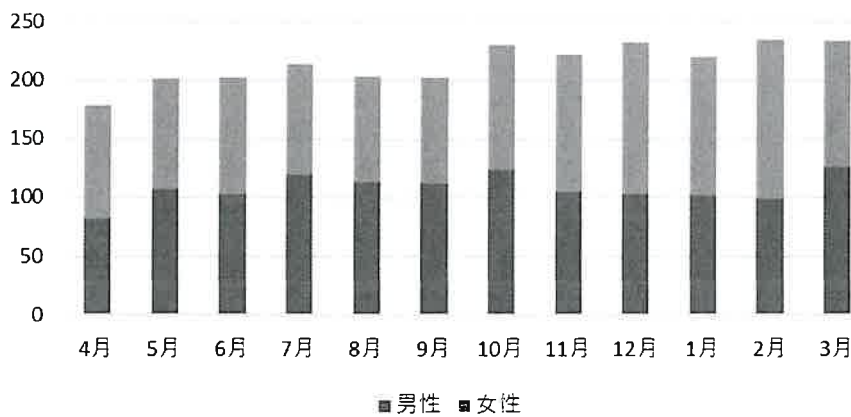
- (1) 開所日数 291名
- (2) 登録者人数 102名（男性49名、女性53名）
- (3) フリースペース延べ利用者数 2,578名（男性1,296名女性1,282名）
- (4) フリースペース月別延べ人数利用者数

※1ヶ月平均利用者数およそ32名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
男性	82	107	103	120	113	112	124	105
女性	97	94	99	94	91	91	107	117
合計	179	201	202	214	204	203	231	222

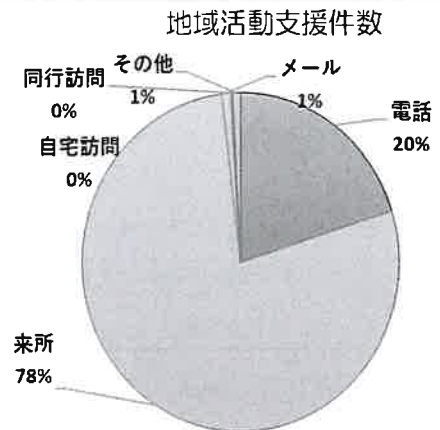
	12月	1月	2月	3月	年間計
男性	103	102	99	126	1,296（前年比44.7%増）
女性	130	118	136	108	1,282（前年比76.3%増）
合計	233	220	235	234	2,578（前年比53.3%増）

月別 フリースペースの延人数



地域活動支援件数 (延べ件数)

	電話	来所	メール	自宅訪問	同行訪問	その他
4月	60	202	5	0	0	1
5月	55	223	1	0	1	0
6月	74	232	2	0	0	1
7月	70	268	7	2	2	1
8月	68	233	6	0	2	3
9月	78	244	5	0	0	1
10月	75	275	0	1	0	24
11月	60	246	0	1	0	1
12月	48	267	1	0	0	0
1月	61	261	4	1	0	0
2月	58	292	0	0	0	0
3月	73	279	1	0	0	0
計	780	3,022	32	5	5	32



2 プログラム開催

秦野市在住の精神障害の方(重複障害等周辺領域の障害や難病含む)を対象として暮らしに彩りを添える余暇支援となるよう、また、就労中もしくは就労等自立を目指す方々に向け、有益なプログラムを開催する等、あらゆるニーズに応える様々なプログラムを行いました。

(1) サロン de おしゃべり (年間 12 回)

フリースペース利用者同士や、ピアサポーターとフリースペース利用者の交流の場として、コミュニケーションを取りながら毎回自由にテーマを決めて主体的に実施できるような運営を心がけました。

(2) 健康相談会 (年間 10 回)

管理栄養士による健康管理をサポートしました。

- ・ 体重測定、血圧測定、栄養相談、塩分濃度測定等、問診と助言
- ・ 水無川ウォーキング、健康効果のある歩き方指導、靴の選び方等の助言

(3) 文化系プログラム（年間 17 回）

利用者が得意分野を活かし講師となってプログラムを実施しました。市民ボランティア講師によるプログラムやりハビリとしてのSSTの体験を行いました。

折り紙で作るメッセージカード、SST体験、カザグルマづくり、羊毛フェルト、Youtubeで過去にさかのぼろう、絵手紙、DVD上映会、アロマ×女子会、クリスマスカードづくり、マスキングテープアート、アロマで芳香剤ラッピング、干支の起き上がりこぼし、お薬手帳きせかえワークショップ、コラージュ、ハンドマッサージ講座

(4) 野外活動系プログラム（年間 17 回）

森林セラピーはストレスホルモンの減少、副交感神経の高まりによるリラックス効果等が科学的に検証されています。市担当課（森林ふれあい課等）との連携を密にし既存資源の活用も意識しました。

地元の財産でもある名水の里巡りも行いました。野外活動は前述の効果以外に気分転換、思考力や想像力の向上、記憶力改善等が期待でき、意欲向上の効果があります。

森林セラピーロード、秋を探して、桜を見に行こう、名水の里を訪ねて、園芸活動、河川敷を歩こう、清見オレンジ狩りに行こう、春を探してチューリップを見に行こう

(5) 運動系プログラム（年間 9 回）

体づくりや健康維持に役立てました。身体と心（精神）は連動しており、身体の活性化が精神安定に繋がります。

ピラティス教室、ボクササイズ

(6) 神奈川県障がい者芸術文化活動支援センターとの事業（年間 3 回）

障害のある人が芸術文化活動に触れる活動として企画された、芸術家によるワークショップへの2年連続の参加となりました。今年度は丹沢の森林の木材を使ったアート作品制作に取組みました。他施設利用者等、秦野の地域の人たちにも広く周知し、病気や障害の種別にかかわらず、誰もが一緒に、丹沢の地の利を活かしたワークショップでアート制作する楽しさを賑やかなイベント感と共に味わう体感をしました。

11月、12月、1月のそれぞれ各1回、あらたなニーズに対応し平日午後実施しました。

(7) 社会資源紹介プログラム（4 回）

利用可能な社会資源を紹介しつつ、新たな情報提供も意識しました。

- ・就労移行支援事業所「りんく」による就労を目指す方のための勉強会。
- ・生活介護事業所「はみんぐ」による身体の体幹を鍛えるピラティスの実技指導。
- ・福祉施設以外の街中のさまざまな地域資源の紹介や見学、利用訪問等。

(8) その他

季節のイベントで仲間とのコミュニケーションがはかられ、利用者同士の交流も深まりました。 ・クリスマス会

3 ピアサポート活動支援事業

秦野市のピアサポーターに当事者の仲間（ピア）である強みを活かした活躍の場を提供、紹介するとともに、秦野市在住、在勤等の精神障害の当事者（ピア）が求めている自己実現をサポートするため、活動を支援しました。

※令和4年度 登録者9名、学習会修了者数25人

(1) ピア相談会（毎月第3火曜日定期開催）

ピアサポーターの活動の一環として相談会を開催しました。ピアサポーターが地域の精神障害のある方のさまざまな困りごと等の相談に応じました。個別相談者数が伸び悩み、11月より座談会形式と併用しての開催となりました。

① 開催回数	12回
② ピアサポーター活動延べ人数	45名
③ 相談者延べ人数	16名

(2) ピアのつどい（毎月第1木曜日開催）

ピアサポーターの円滑かつ安定した活動に向け開催しました。ピア学習会修了者を対象に、ピア活動の連絡調整や事前準備、活動の振り返り等を通して、エンパワメントの維持向上を図りました。主に、相談会及び普及啓発事業での活動についてピアサポーター同士で振り返りや意見交換等を行いました。

① 開催回数	12回
② ピアサポーター活動延べ人数	65名

(3) ピア学習会（令和4年9月～令和5年1月）

専門職による講義、ピア（当事者）による体験発表等の学習会を開催し、新規ピアサポーターの養成を行いました。

① 開催回数	6回
② ピアサポーター継続登録者（新任）	8名

(4) ピア活動普及啓発及び地域交流

ピア活動及び、精神障害者への理解を図るために地域住民、学校、精神科病院等との交流事業を行いました。

① 活動回数 23回

② 活動内容

- ・みくるべ病院退院促進プログラムでの助言（体験談・経験談から地域生活を伝える）
- ・秦野曾屋高校福祉教育授業での体験発表

- ・ 秦野総合高校福祉教育授業での体験発表
- ・ 東京医科歯科大学での体験発表
- ・ ボイスピアはだの（当事者・家族による体験発表、交流会）開催
- ・ 民生委員・児童委員協議会障害部会での体験発表
- ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を検討する協議会への参加
- ・ 地域精神保健福祉連絡協議会（web）への参加
- ・ 神奈川県精神障害者地域移行・地域定着支援事業（ピアサポーター養成事業）への協力
- ・ フリースペース利用者との交流会（サロン de おしゃべり等）

(5) 同行支援 (3回)

秦野市が認めた場合に、精神科病院等の受診や各種申請手続き等の際に、適宜地域活動支援担当の相談員が同行しさまざまなサポートをしました。

(6) ピアサポーターへの支援

秦野市の登録ピアサポーターがそれぞれの病気や障害と向き合い、それぞれのやり方で折り合いをつけながら、ピアとしての活動を継続できるように一緒に考え、体調に配慮しながら活動を調整するなど客観的に見守りました。あくまでも主体はピアサポーターであると意識しながらその活動を支えました。

《具体例からみた地域活動支援の効果》

繋がり先	人数	事例
B型事業所	7	・ 地域資源紹介プログラムで現在通所のB型を知り通所に至る。 ・ FSでの知り合いが多い事業所が適応し、継続通所している。
A型事業所	1	・ 移行に通所しながら、FSで余暇を過ごし、就労へ繋がる。
一般就労	2	・ FS利用から就労支援に繋がる。 ・ 移行に通所しながら、FSで余暇を過ごし、就労へ繋がる。
就労定着支援	10	・ 就労後にFSに立ち寄り、心身共にリセットして就労している。 ・ 職場での相談事を職員やFSメンバーと分かちあっている。
生活相談	4	・ FS利用がきっかけで生活相談へと繋がり、GHや就労等の福祉サービスに繋がった。
地域生活	14	・ FSが地域生活の拠点となり、自分らしく過ごすことができている。 ・ 電話相談からFS来所に繋がり、居場所となっている。
自己実現	16	・ ピアサポーターとして自己実現を図る。作曲をプログラムで披露。 ・ 秦野市ピア活動だけでなく、自助グループを立ち上げている。
若者支援	7	・ 39歳以下の居場所として「たまり場」開催。 ・ どこも居場所がない方が、支援者とともにプログラム参加。
医療との連携	5	・ 主治医への同行。 ・ 訪問看護利用について、事業所の検討の相談。
合計	66	重複あり。103名の登録者の中でも特に関わりが強かった人数の合計

4 広報活動

(1) ぱれっと・はだのミニ（毎月発行）

障害のある方の地域生活に役立つさまざまな情報を発信しました。障害福祉制度やサービスに関すること、暮らしが彩り豊かになるような地域に根差した役立つ情報や「ぱれっと・はだの」を身近に感じていただけるような親近感ある紙面づくりを心がけました。また、就労中や就労等自立に向けた活動を展開している方への有益な情報を掲載する等「自立」への支援を広報活動の側面からも意識しました。

(2) ぱれっと・はだのプログラム予定表（毎月発行）

毎月の活動予定を分かりやすく掲載するよう紙面構成を工夫しました。

(3) YOUとピア通信（不定期…第5号発刊済み）

「ピア」とは「仲間」という意味です。同じ悩みをもった者同士の対等な支え合いを総称していることでもあります。あなた（YOU）とピアを結ぶ新聞であるという意味を込めてピアサポーターが発案しました。

(4) ホームページ・SNS等

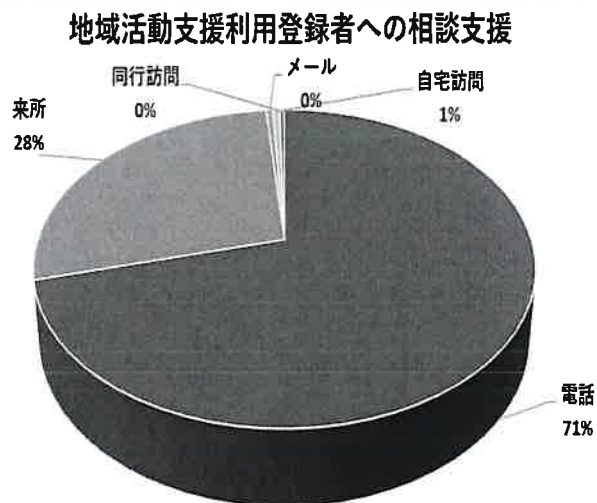
法人ホームページに、フリースペース、プログラム、ピア活動支援等さまざまな地域活動支援事業を紹介しました。また、Twitter、Instagram等のSNS上で発信し、情報にアクセスしやすくなるよう工夫しました。

5 相談支援（地域活動支援利用登録者のみ集計）

地域活動支援事業として展開しているフリースペース運営（プログラム開催含む）ピア活動支援事業の中で、利用登録者に対して国家資格を有する相談員らが日々の関わりの中で適宜相談対応しました。

- (1) 開所日数 291日
- (2) 相談者実人数 213名（男性114名、女性99名）
- (3) 支援件数（延べ） 772件

	電話	来所	メール	自宅訪問	同行訪問
4月	46	12	0	0	0
5月	37	19	0	0	0
6月	56	25	0	0	1
7月	46	26	0	2	1
8月	52	12	2	2	1
9月	48	14	1	0	0
10月	59	21	0	0	0
11月	23	10	0	0	0
12月	36	9	0	0	0
1月	47	17	0	0	0
2月	41	30	0	0	0
3月	57	18	1	0	0
計	548	213	4	4	3



(4) 相談内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
福祉サービス利用	4	3	5	13	13	12
障害・病状について	1	5	9	3	3	1
健康・医療関連	8	5	8	1	7	1
不安解消・情緒不安定	40	33	53	60	47	46
家族関係・人間関係	9	10	17	22	6	10
家計・経済	18	6	1	5	4	5
就労	7	6	5	9	9	9
社会参加・余暇活動	141	185	192	217	184	201
権利擁護	0	0	1	0	0	0
ピア活動	28	12	24	21	24	33
日常会話	51	42	50	33	56	7
その他	15	18	14	23	9	20
合 計	322	325	379	407	362	345

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用	6	5	2	2	7	8	80
障害・病状について	2	4	3	2	8	4	45
健康・医療関連	3	3	4	12	8	11	71
不安解消・情緒不安定	59	41	37	36	33	44	529
家族関係・人間関係	12	3	11	25	18	11	154
家計・経済	3	0	0	1	3	0	46
就労	5	2	1	13	4	6	76
社会参加・余暇活動	225	211	228	218	237	232	2,471
権利擁護	3	0	0	0	0	0	4
ピア活動	24	19	30	26	16	19	276
日常会話	42	34	69	71	62	30	547
その他	38	28	6	23	34	32	260
合 計	422	350	391	429	430	397	4,559

《令和4年度総括》

地域活動支援事業として、障害や病気があっても、よりよい地域生活を目指し、彩りある暮らしを構成する充実した地域活動の可能性を探りながら、新たな取り組みを積極的に進めていくことを意図し実施してまいりました。

フリースペースでは、誰にとっても「自由で居心地良く過ごせる時間と空間の提供」を心がけ、プログラム活動では、文化・芸術分野、丹沢の地の利を活かした秦野ならではの自然に触れる野外活動、プロのミュージシャンを招いての音楽イベント、季節折々の年中行事に即したイベント、利用者の自立を促すためのセルフケアの勉強会や就労に関する勉強会等々多岐にわたる活動やコロナ禍でもできる活動を工夫いたしました。

いままで福祉サービスに繋がらなかった方々や、余暇支援や居場所が必要な方々、就労中もしくは就労等自立に向けてそれぞれの活動を展開している方々に対して、地域活動支援事業の特長を十分に活かしたサポートを工夫することを心がけました。

【就労支援事業】

1 就労相談

就労相談の中で、来訪される方は、この三年間毎年500人台で推移してきたが、電話相談は、年々急増の一途をたどっている。内容的には、生活面における不平や不満など人間関係に関する相談が圧倒的に多く、次に一般就労や就労継続支援A型事業所に行きたいが、週の勤務時間の制約等があるため、しかたなくB型事業所で通所先を探すケースが大変多くなっています。今年度67名が、ぱれっとはだのに登録されました。その内、身体障害者の登録は、5名と数は少ないですが、その多くは、就労を希望されており、求人も極端に少ない上に、送り迎えが必要なケースが多く、就労先を探すのに大変苦労しました。今年度は、神奈川県リハビリテーション病院職能科のご紹介で、年間6回にわたって、「脳卒中患者の就労支援に関する患者、企業、地域関係機関・職種のネットワーク構築」というテーマで、横浜創英大学の山口教授、市内の訪問Rステーション、鶴巻温泉病院、みきフレンドの担当者等と情報交換をしてきました。今後、身体障害者の就労支援に役立てていきたい。

また、2年間中止にせざるを得なかった福祉事業所合同説明会を3年ぶりに無事に開催することができた。来場者は57名と少な目ではあったが、説明会でのアンケート調査では、ほぼ「役に立った」との回答でした。

2 ゆめ散歩

ショップの年間売上は昨年度に比べ微増しましたが、まだまだコロナ禍の影響を受けた1年でした。定期的な催しである「イオンの日」では新たに出店する事業所もありました。

その他の活動としては、イオンにおいて福祉事業所のパネル展示に16事業所、ぱれっと・はだの、社会福祉協議会が参加しました。

3 農福連携マッチング支援事業

3年目を迎えた農福マッチング事業は、昨年度に引き続き、農業者と福祉事業所の交流の場を設けたり、マッチングの場を作ったりしました。その結果、以下マッチングの成果がありました。

〔マッチング実績〕

- A 農園 : 福祉事業所 (1か所)
- B 農園 : 福祉事業所 (1か所)
- C 農園 : 福祉事業所 (2か所)

〔会議参加〕

- 全体会議 [3回開催]・セミナー [1回開催]・フォーラム [1回開催]
- 他、地区内会議

就労相談について（3年間の推移）

	電話	来訪	訪問	計
令和2年度	686	585	285	1,556
令和3年度	1,088	552	283	1,923
令和4年度	1,755	535	254	2,544

就労相談内容について（3年間の推移）

	福祉サービス	就労場探し	定着支援	生活面	関係機関	その他	計
令和2年度	196	365	520	434	352	116	1,983
令和3年度	290	476	569	734	467	136	2,672
令和4年度	593	770	899	1,056	480	177	3,975

令和4年度における障害種別就労登録者数

障害別	身体障害	知的障害	精神障害	合計
人数	5	24	38	67

令和5年3月末現在の利用者数

利用内容	延べ人数	(令和4年度のみ)
登録後 福祉サービス就労継続A型	17	(5)
登録後 福祉サービス就労継続B型	66	(18)
登録後 福祉サービス就労移行	7	(2)
登録後 一般就労（養護学校卒業生92名含む）	153	(17)
登録後 求職中	122	(30)
登録者総数（身体31名+知的181名+精神178名）	390	
相談のみ（登録なし）	57	

一般企業への就労した方々の職業別人数（3年間の推移）

業種名	令和2年度末	令和3年度末	令和4年度末
管理職			
専門的技術的職業	3		
事務職	11	20	22
販売	11	17	17
サービス業	4	16	17
保安業			
農林漁業	2	3	5
生産工程	16	12	20
輸送・機械運転		0	0
建設・採掘			
運搬・清掃包装	93	70	72
合計	140	138	153

《令和4年度内に就労した企業名》

刈刈パフォームスマテリアルズ 合同会社	ロピアプロセンター	みんなの広場	東洋陸送
日動計画	ニチケアセンター	藤野製作所	薬野パイプセンター
フロンコピリア薬野	(株)ステップ		

〔養護学校卒業生が就労した企業〕

東京カントリー倶楽部	茨木大成化工	STT	クラウンパッケージ	イクワット
日本ロジテム	クリエイトピキン	日本梱包運輸	寿相が丘老人ホーム	

*この分類は、厚生労働省編職業分類による職業別です。

【ともしびショップ「ゆめ散歩」事業報告】

1 委託事業等

(1) さかえちょう公園休養施設清掃等

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(2) 秦野市本庁舎等庭園管理業務

・フラワーポット（本庁舎・分庁舎・西庁舎）14個 （弘済学園）

・本庁舎正門花壇及びモニュメント花壇の植替え、草花の管理 （弘済学園）

(3) 戸川公園花壇植え込み業務（神奈川県）

夏： くず葉学園 秋： 弘済学園

(4) NEXCO中日本東名周辺及び高架下草刈業務

夏：かがやき 1か所 秋：かがやき 1か所

(5) NEXCO中日本横断幕バッグ作製業務

秦野ワークセンター 70個 （追加分）秦野ワークセンター 50個

(6) 秦野市の行事記念品作製等業務

社会福祉大会 10月22日 460個

(7) 東名売店販売（中井パーキングエリア） （大根工芸）

(8) 秦野斎場庭園等管理業務

・フラワーポット 7個 （弘済学園）

・観葉植物リース 3鉢 （くず葉学園）

・作品（絵画）展示 （ぱれっと・はだの）

・自主製品展示販売 （秦野ワークセンター）

(9) 秦野市中央運動公園プール内自販機販売 実施日 7月1日～9月4日

自動販売機のみにて対応

2 各事業所自主製品の販売促進事業

(1) 秦野市市営鶴巻温泉「弘法の里湯」内の売店「やまなみ」

[出品事業所] 大根工芸・くず葉学園・秦野ワークセンター・鶴巻工芸
いんくるネット

(2) 「イオンの日」展示即売会 実施日 毎月11日 ※例月啓発事業

[出品事業所] 秦野精華園・弘済学園・ちっちな星の会・くず葉学園
松下園・いんくるネット・秦野ワークセンター
みんなの広場・鶴巻工芸・ファミリー生活介護・ゆめ散歩

(3) みんなのすえひろまつり 実施日：11月5日

[出品事業所] ちっちな星の会・くず葉学園・秦野ワークセンター
秦野精華園・弘済学園・松下園・にこにこパン
ファミリー生活介護・ゆめ散歩

(4) 曾屋神社節分祭 実施日：2月3日 ゆめ散歩出店

(5) ポイントカード 年間使用枚数 46枚（2,300円相当）

3 自動販売機管理事業

[実施事業所]

うぐいすの家	秦野市総合体育館（2台）
かがやき	秦野市おおね公園（2台）
当法人	公民館（西、渋沢）（2台）・ぱれっと・はだの（2台） 秦野市役所（3台）・さかえちよう公園施設（1台）

4 さかえちよう公園・ゆめ散歩における各種イベント

(1) セタまつり 7月6日～7日 飾り付け参加事業所 15事業所

かがやき・秦野精華園・くす葉学園・大根工芸・やまばと学園
うぐいすの家・秦野ワークセンター・あすなろ会・鶴巻工芸
みのりの家・ちっちゃな星の会・ハッピーラボ・みんなの広場
みんなの広場Ⅱ・ファミリー生活介護

(2) さかえちよう公園イルミネーションフェスティバル

(天空の星のみ点灯) 12月2日～25日

5 「ともしびショップ ゆめ散歩」内就労

(1) 就労体験（関係事業所）	6名（精神 4名、知的 2名）
(2) 就労体験（一般）	1名（知的 1名）
(3) 養護学校アセスメント	8名（秦野 6名、平塚 2名）
(4) 直Bアセスメント	3名（精神 2名、知的 1名）

6 就労実績

・パン店（製造）	1名（精神）
----------	--------

7 その他活動

(1) イオンパネル展示 (5月9日～12日) セントラルコート	福祉事業所等紹介パネルを展示 ※特別啓発事業 参加事業所 16事業所、社会福祉協議会、 支援委員会ぱれっと・はだの
(2) 東日本大震災支援活動 (3月11日) イオン販売	宮城県女川町の障害者就労支援施設「きらら女川」 製造のあげまんじゅう、アップルティーケーキ及び 「南三陸町産 生わかめ」を販売
(3) 受注活動	宅配ずし「銀のさら」箸セットの袋詰め 「QQ防災クラブ」蓄光テープ等の型抜き及び袋詰め 「ジャパンニューアルファ」せっけん、缶バッチ受注

8 会議等

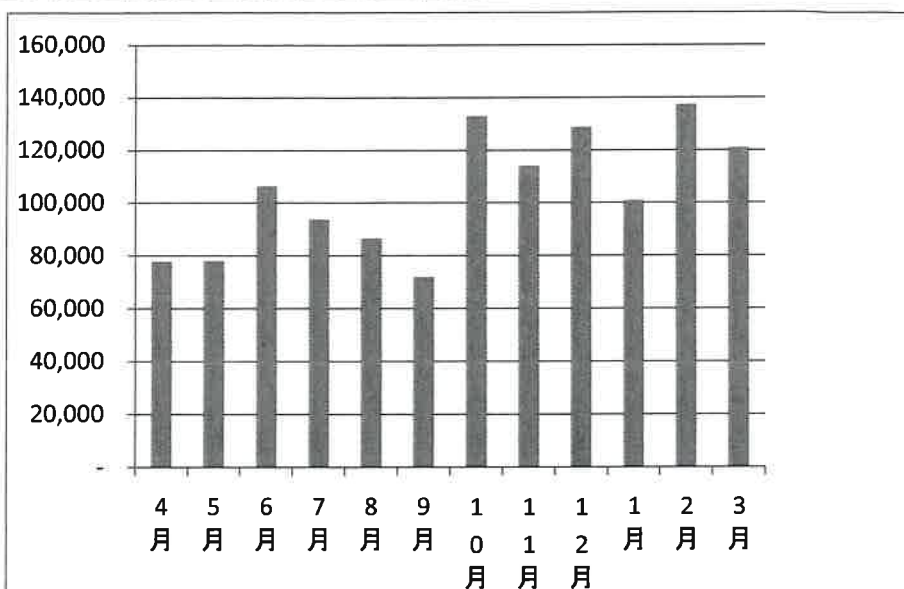
(1) 令和4年4月～令和5年3月	1回/2週間 ケース会議（スタッフ会議含む）
(2) 令和4年8月20日	福祉事業所合同説明会（保健福祉センター）
(3) 令和5年2月4日	事業所職員研修会（保健福祉センター）

令和4年度ゆめ散歩売上状況

月別売り上げ

単位：円

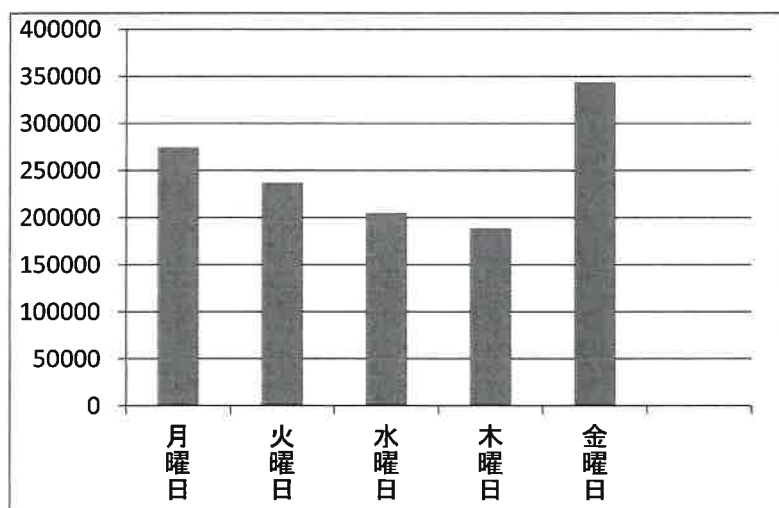
4月	77,965
5月	78,200
6月	106,575
7月	93,785
8月	86,685
9月	71,975
10月	133,015
11月	114,080
12月	128,865
1月	101,065
2月	137,425
3月	120,965
計	1,250,600



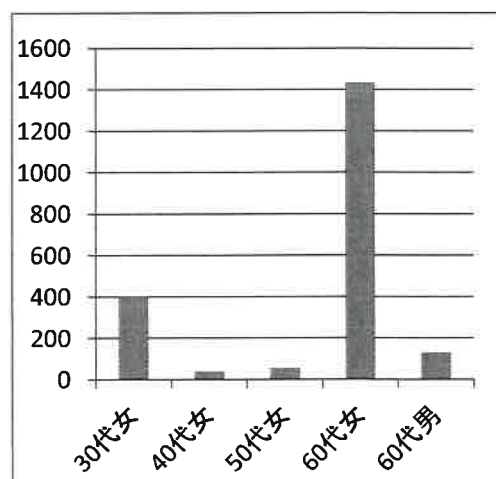
月別商品売上順位

月	1位	2位	3位	4位	5位
4月	野菜	焼き菓子	豆腐	布雑貨	パン
5月	野菜	焼き菓子	豆腐	パン	加工食品
6月	野菜	焼き菓子	豆腐	椎茸・パ	秦野の水
7月	野菜	焼き菓子	豆腐	布雑貨	秦野の水
8月	野菜	焼き菓子	秦野の水	豆腐	餃子
9月	野菜	焼き菓子	豆腐	秦野の水	布製品
10月	野菜	焼き菓子	豆腐	秦野の水	布製品
11月	野菜	焼き菓子	秦野の水	豆腐	布製品
12月	野菜	焼き菓子	手芸品	布雑貨	豆腐
1月	野菜	手芸品	布製品	焼き菓子	秦野の水
2月	手芸品	焼き菓子	野菜	布雑貨	豆腐
3月	手芸品	焼き菓子	野菜	雑貨	布雑貨

曜日別売上表



年代別来客数



令和4年度 決算

第2号議案

< 一般会計 >

		予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘要
① 総務					
収 入	繰り越し金	4,404,291	4,404,291	0	
	市運営費補助	13,874,000	13,874,000	0	
	会費	598,000	608,000	10,000	正会員18・賛助会員12
	NPO法人負担金	600,000	1,900,000	1,300,000	事務取扱経費等
	雑入	920,000	629,442	△ 290,558	コロナ公的助成を含む
	自主事業繰り入れ金	3,077,000	4,343,346	1,266,346	相談自主事業収入より
合計		23,473,291	25,759,079	2,285,788	
支 出	事務用消耗品購入費	700,000	390,342	△ 309,658	除菌用品含む
	車両維持管理経費	600,000	505,589	△ 94,411	燃料費、保険料等
	建物等維持管理費	7,000,000	6,100,104	△ 899,896	保守点検光熱費等
	借入金返済(建設事業借入)	1,928,000	1,739,956	△ 188,044	
	報酬費	6,900,000	6,900,000	0	
	理事等活動経費	780,000	780,000	0	
	理事会経費	80,000	85,000	5,000	
	労務・会計管理費	700,000	655,121	△ 44,879	
	NPO法人業務協力金	1,400,000	1,400,000	0	業務への協力金
	販売受託へ繰り出し 予備費	942,000 2,443,291	2,863,956 0	1,921,956 △ 2,443,291	
合計		23,473,291	21,420,068	△ 2,053,223	
収支差額		0	4,339,011	4,339,011	

		予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘 要
② 相談支援					
収入	市相談支援委託料	24,245,000	24,245,000	0	計画相談、区分認定、寄付金等
	相談自主事業収入他	4,200,000	5,604,876	1,404,876	
合計		28,445,000	29,849,876	1,404,876	
支出	人件費(相談員5名・総務2名)	24,818,000	24,751,454	△ 66,546	緊急時対応・研修等を含む ソフト・メンテナンスを含む 総務へ
	相談事業諸費	300,000	674,568	374,568	
	パソコン備品等	250,000	80,508	△ 169,492	
	自主事業繰り出し金	3,077,000	4,343,346	1,266,346	
合計		28,445,000	29,849,876	1,404,876	
収支差額		0	0	0	

		予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘 要
③ 地域活動					
収入	市地活運営委託	11,502,000	11,502,000	0	基本事業分 利用者一部負担、ピア活動加算等
	地域活動収入	260,000	602,520	342,520	
	総務より繰り入れ	0	0	0	
合計		11,762,000	12,104,520	342,520	
支出	人件費(相談員4名)	11,400,000	11,279,296	△ 120,704	ピア活動費含む
	地域活動雑費	362,000	825,224	463,224	
合計		11,762,000	12,104,520	342,520	
収支差額		0	0	0	

		予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘 要
④ 就労支援					
収入	市就労等支援事業委託	15,096,000	15,096,000	0	保険料負担金・農福事業協力金
	就労支援事業雑収入	4,000	403,500	399,500	
	総務より繰り入れ	0	0	0	
合計		15,100,000	15,499,500	399,500	
支出	人件費(支援員5名)	12,400,000	12,901,997	501,997	旅費等を含む
	ま木就労支援員等助成	2,000,000	2,000,000	0	
	就労支援事業諸費	200,000	231,552	31,552	
	普及啓発・研修会経費	500,000	365,951	△ 134,049	
合計		15,100,000	15,499,500	399,500	
収支差額		0	0	0	

		予算(A)	決算(B)	差額(B)-(A)	摘要
⑤ 販売・受託（共同受注等）					
収入	ゆめ散歩売上	1,800,000	1,862,715	62,715	
	事業収入(共同受注・自販機)	4,800,000	3,958,559	△ 841,441	東名草刈り等
	公園管理受託	308,000	319,000	11,000	さかえちょう公園管理
	にじ散歩売上	7,900,000	7,049,852	△ 850,148	
	総務より繰り入れ	942,000	2,863,956	1,921,956	
合計		15,750,000	16,054,082	304,082	
支出	ゆめ散歩仕入	900,000	1,703,326	803,326	作業所扱い分含む[1,674,116]
	ゆめ散歩利用者賃金	100,000	86,604	△ 13,396	
	共同受注・自販機管理	3,500,000	2,667,353	△ 832,647	
	自販機電気料	350,000	633,156	283,156	
	にじ散歩仕入	4,500,000	3,575,366	△ 924,634	
	人件費(支援員1名・にじ散歩)	6,000,000	6,490,713	490,713	
	ゆめ散歩・にじ散歩雑支出	400,000	897,564	497,564	店舗維持運営経費
合計		15,750,000	16,054,082	304,082	
収支差額		0	0	0	

※参考

	令和4年度予算	令和4年度決算
一般会計総収入(特別会計を除く)	94,530,291	99,267,057
一般会計総支出(同上)	94,530,291	94,928,046
差額	0	4,339,011

< 特別会計 >


※基金の動き

⑥ 地域生活支援基金	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末	※令和4年度末
増 減	1,504,068	595	236	184
累 計	7,004,068	7,004,663	7,004,899	7,005,083


令和5年3月31日

上記のとおり報告します

理事長

藤村和静 

事務局長

越光森茂 

令和4年度会計監査結果報告書

一般社団法人秦野市障害者地域生活支援推進機構

令和4年度収支決算について、証拠書類と貸借対照表など諸帳簿について監査したところ、正しく処理されており、すべて適正であった事を証明します。

令和5年5月10日

監事 宮本 英子



監事 浪邊 孝広

